

## 平成 20 年度市政懇談会会議録〔小笠東地区〕

日 時 平成 20 年 7 月 19 日 19 : 00 ~

会 場 丹野公民館

参加者 98 人

市長からの市政報告のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

### 懇談(質疑応答)

古谷 男性

県道川上菊川線と古谷高橋原線の交差点への信号設置についてですが、宮城商店のところに信号機が無い。丹野地区の学童の通学路になっており、非常に危険です。今までも軽微な事故が頻繁に発生しているので、重大事故が発生する前に対策をお願いしたいです。2点目は、古谷高橋原線の道路の舗装が非常に悪いです。やってくれるという話ですが、早急をお願いします。3点目は、先ほど市長からお話をいただきましたが、予算付けされた古谷高橋原線の学童の歩行者道路の設置について早急にやっていただきたい。

市長

まず通学路につきましては、菊川市としましては、子供の命に関わることで、優先的に行っていきたいと思えます。信号機の設置と横断歩道につきましては、県の公安委員会に申請をしまして、協議をする中で設置するかどうか決まることとなります。従いまして、地元の皆さまから強い要望があれば、設置につながると思えますので、県あるいは公安委員会へ申し入れをしていきたいと思えます。

また、古谷高橋原線の道路舗装と歩道の設置についてですが、これも地域の皆さんから強い要望があるということは承知しております。平成 19 年度には、県道川上菊川線より東へ 100mほど行いまして、本年度も昨年に引き続き、約 100mを施行する計画をしております。市内には、たくさんのまだまだ改修しなければならない道路がありますので、財政的なものを見ながら計画を進めていきたいと思っております。

また、歩道設置につきましては、今年度調査業務を行います。これにつきましては、委託業者が 8 月に決まると思えますので、地元の皆さんといろいろ説明や協議をしながら考えていきたいと思えますのでよろしくお願ひいたします。

赤土下 男性

1つ目は、敬老会も良いが、若い力が地元産業に根付いてくれるような成人式を盛大に行ってもらいたいということ、2つ目は、県下他市の水準に比べて市職員給与、議員報酬が低いので、引き上げて、職務に一層活躍を願いたいということです。

市長

まず成人式の関係ですが、最近の成人式がどういう成人式かと申しますと、合併してからアエルで行っております。30分ほどの式をやりまして、その後はいろいろなアトラクションがあります。合併してから3年間の成人式は、県下でも非常に成人者が落ち着いた中での成人式になっていると思います、感謝しております。その中でどのような成人式をしているかですが、菊川市がよその成人式と違うところは、成人式に呼ぶ対象者を小学校入学前に転出した方を除くということで、小学校入学後に転出した人にもぜひ菊川市の成人式に出席してもらいたいというような案内をしています。

今年の1月13日の開催につきましては、781人中513人で、出席率は66%という高い出席率になっておりまして、アンケートをいただくなかでも、大変良かったという新成人の皆さんからのアンケート結果があり、地元に対しての愛着があると私どもも考えております。

成人式のやり方についてですが、前年度の成人者の代表の方や青年団、教育委員さんなどをメンバーとして「成人式検討会」を毎年開催しております。特に青年団の皆さんが、司会をやっていただいたり、当日は中学生のボランティアの皆さんが裏方としてやっていただいたり、大人がしきるのではなく、前年度の成人者や中学生がやってくれているということ、そして、小笠高校の吹奏楽部に演奏をやっていただいたりと、「成人式検討会」の皆さんにご苦労いただきまして、非常に内容のある成人式が行われていると感じております。これから次代を担う人たちに菊川市に住んでもらうためにも、やはり成人式を大事に育てていきたいと思っております。県下で一番いい成人式になるよう、市としましても取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

市職員の給与についてですが、どのように決めるかということ私が決めるのではなく、議会の議決をへて、市の条例で定めております。菊川市職員の水準がどれくらいかというと、一番わかりやすいのが、国家公務員の給与水準と比較するラスパイレス指数で申しますと、94.5%であります。これは県下23の市がありますが、その中で17番目に位置しております。市職員の給与の引き上げにつきましては、非常にこういう時代でありますので厳しい問題であります、市民の皆さんの評価をいただく中で職員の資質向上に取り組んでいきたいと思

います。

市では年功序列的なものもありますが、一方では試験制度を行う中で職員の適材適所、あるいは意向調査を行うなかで、どのような部門で自分の力を発揮したいかという制度を導入する中で、能力の活用と組織の活性化に取り組んでおります。

議員さんを含めた市の特別職の報酬については、市長が特別報酬審議会へ諮問し、審議会の中で答申を私が受けます。現在いろいろな制度改革とか、今回議員さんが22名から17名になるということもございまして、今、審議委員さんを5名お願いし、市民の代表としてこれからの答申をいただくようになります。議員の皆さまにおかれましては、市民を代表して市政運営の決定をしていただく重責を担っていただいているわけですから、その職責に見合う額を用意する必要があると考えております。その点を含めまして審議会では、近隣市の状況も見ながら議員報酬についての議論をお願いしたいと考えております。

城山下 男性

城山下自治会は、若い世代、子育て中の世帯が多いところですので、その中から出てきた要望事項です。図書館の蔵書、DVDやビデオも含めた内容の拡充。それと開館時間の拡大をお願いしたい。毎日でなくてもいいので、開館時間を早めるとか、閉館時間を遅くするなどしていただきたい。

2点目は、児童館の休館日が月曜になっていますが、月曜は実際には利用者数が多い日になっているそうです。各家庭とも、土日は親がいるので家庭で過ごすことが多く、実は月曜の方が利用したいが月曜が休みになっているという要望がありました。

3点目は、学童保育の定員についてですが、すぐいっぱいになってしまうので拡大して、今待機になっている人もいますので検討願いたいということです。

市長

図書館の開館時間についてですが、大変市民の皆さんから図書館に対しましては関心をもっていただいております。図書館は菊川と小笠と2箇所あり、やり方も開館時間も違っていました。合併時に混乱してはいけないということで時間を調整させていただきました。休館日につきましても違っていましたので、市民の皆さまから要望をいただくなかで、1つは、休日の日に開館をするというように変えてまいりました。もう1つは開館時間の延長ですが、これも市民の皆さんから要望がありますので、8月と11月に開館時間を30分早くさせていただいて、利用者のアンケートを取らせていただきたいと思います。図書館を使っていただくことは、私どもにとりましては、教育

とか市民の皆さんの利便性をあげるために非常に重要なことと考えております。いろんな財政的な問題もありますが、いろんなバランスを見る中で、今、教育委員会の中でも図書館の位置づけというものは高い位置づけに更にしまして、利便度の向上のために取り組んでいきたいと思っておりますので、いろいろとご意見等ご要望をいただきたいと思っております。

次に、児童館の休館日の件についてですが、小笠児童館が設置されまして20年経つとお聞きしています。今年20周年記念事業を行うということですが、当時から月曜日が休館日になっていると伺っております。そこにも何かの経緯があると思っております。また利用者のみなさんが何かご不便があるようでしたら、児童館運営委員会という会がありますので、そのようなご意見があったことはお話をさせていただいて、そして検討していただきたいと思っております。

3点目の放課後児童クラブについてですが、急激にこの2・3年、子供さんを預けたいという人が増えています。特に東地区におきましては、本年度コミュニティセンター内に併設を予定しておりますので、今後また教育委員会、福祉環境部と地域の皆さんと協議をする中、今後どのようにするか、多分、完成後には定員も余裕が出てくると思っておりますので、そこで対応させていただきたいと思っております。

城山下 男性（再質問）

コミュニティバスの土日の運行をして欲しいということと、乳幼児の医療費補助制度の適用を小学校卒業まで延長して欲しいということ。それと、日系ブラジル人が非常に多くなってきているので、ポルトガル語への翻訳サービスを市でもやって欲しいということ。あるいは、紹介していただくシステムを確立して欲しいということです。

現在では、たまたま自治会内に住んでいる有志の方をお願いしている状態ですが非常に不安定です。日系の方との共生のためには、コミュニケーションを深めることが一番必要だと思ひまして、回覧文書を作るときにも、ポルトガル語版を作らせないで、3分の1の方が日系人ですので、全く伝わらず益々意思の溝ができてしまうという事実があります。

市長

最初にコミュニティバスの土日運行についてですが、どういった経緯でコミュニティバスが導入されたかということですが、合併する時に、合併協議会の中でコミュニティバスというものを市民の、特に高齢者や弱者の方のために、そして当時は、主に病院に通うとか医療機関や公共施設、商業施設などの施設へ行く手段として立ち上がったところであります。

今、4年目を迎えます。小笠地区の皆さんにおかれましては、コミュニティバスはなじみが薄かったかと思いますが、おかげさまで毎年利用者が増えております。

まだまだ私たちのPR不足だということもありますし、皆さんの考え違いもあるかと思いますが、まず私どもとしては、コミュニティバスをこれからどういう風にしていくかということで、4年目になりましてこの充実を図っていきたいと思います。当然、土曜とか日曜も運行して欲しいという話も私どもの耳に入ってきておりますが、こういったことにつきましても、地域公共交通会議というところで、いろんな関係者、高齢者の皆さんとか、障害者の皆さんとか、あるいは医療関係の皆さんで毎回意見交換をしながら、どのようなコミュニティバスが一番市民の皆さんのためになるかということで協議をされております。こういった中で当然土曜も日曜の運行についても、いろいろとご意見がでるかと思しますので、そのようなことについても公共交通会議の中でも検討をお願いしたいと思います。

ちなみに、このコミュニティバスに年間どのくらいの方が利用されているかお分かりになりますか。だいたい3万人近くの方が1年間にご利用いただいております。1日120人から130人くらいの方がコミュニティバスをご利用いただいております。

2点目の乳幼児医療制度についてであります。今現在は幼稚園、就学前までになっております。今の話は小学校終了後までということですが、今後どのような支援が可能であるか、先ほど申しましたように私は子育て支援策をこれから充実していきたい。そのために何を優先的にやるべきかということ、内部で話をしております。市の財政状況や医療制度改革の行方などを含めまして、今年度中に方向を出すように担当に話しておりますので、来年度は助成については考えていきたいと思っております。話はそれるかもしれませんが、ある自治体の病院の院長が、無料化というのは病院に来なくてもいい患者さんも病院に来てしまうので、きちっと保護者の皆さんに言ってくださいと釘をさされました。とは言いながら、市民の皆さんの要望に応えていかなければいけないと思っておりますので、その辺を村田院長その点はよろしく申し上げます。

3点目のポルトガル語の翻訳につきましては、私の方では、城山下の皆さんが一番積極的に外国人の皆さんと共生されているということをお報告では聞いております。そういう中でも、まだまだ翻訳の問題とかコミュニケーションの問題でいろいろとあるかと思いますが、まず広報紙につきましては、地域支援課に相談させていただきまして対応させていただきましますので、いろんなケースがありまして、私どもも昨年度から外国人の集住都市会議等にも参加をして、積極的な外国人との共生によるコミュニケーションを担当課にも指示しております。

ので、地域支援課が窓口になりますので何かありましたらご相談していただきたいと思います。

丹野 男性

県道川上菊川線の丹野トンネルの交通量が大変最近増加していて、またトンネル内も狭く、朝昼のラッシュの時、自転車通学の高校生は危険な状況であります。また、大型車が通るときに特に安全確保としてトンネルをカットしていただきたいと思います。これは毎年出ているお話だと思いましたが、県道ですから強く県の方に要望していただきたいと思います。

市長

自治会長さんもお承知のとおり、これは県道になりまして、毎年のように県の方に「交通量が増えていて危険ですので何とか考えてもらいたい」ということは、土木関係に会うたびに話をしております。これからもそのような形で県の方には強く要望していきたいと思っておりますので、後方支援の方もよろしく願いしたいと思っております。

三協 男性

433、これは目木から三沢の工業団地へつながっている道ですけど、つながっている最後のところが大変狭くて、車がすれ違うこともできませんので、それを広くしてもらいたい。それと、そこが今2箇所陥没しているので、早急に処理していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市長

フジオーゼックスさんへ行くところの道ということですね。今、私は承知しておりませんので、道路の陥没しているところは、また畑総道路になりますので、農林課に伝えておきまして、道路の拡幅につきましては、畑総の事務所と話をしてみますので、少しお時間をいただきたいと思っております。また、それにつきましては担当の方からお話をさせていただきます。

三協 男性

猿渡椎広線の交差点であります、18年度に工事をされまして感謝しております。ただし、その交差点の改良ですが、古谷・丹野地区の両自治会の通学道路にもなっております。毎年数件の事故が発生しておりますが、改良されまして去年は、1年事故がありませんでした。ただし、工事につきましては、軽率といえますか、落ち度があってガードレールの支柱が崩れかかっている現状です。

れども、これを各課の担当職員のノウハウがある職員が配置されておりますので、せっかくの公場でありますので市長にお聞きしたい。

市長

道路を直して事故が減ったということは良かったと思います。先ほど言ったように通学路については細心の注意を払っておりますし、また何かありましたら、今日は教育長も来ておりますので何なりと行っていただきたいと思います。それと工事の方ですけれども、それはきちっと担当課の方で業者と話をしております。

三協 男性 (再質問)

調べておりましたら業者の方では、口頭で無設計であるということです。設計がないために、軽率な工事になってしまったと請負業者の人たちも言っておりました。市長の率直な意見をお願いしたい。

市長

設計書もなく工事が行われることは無いと思います。それは大きな工事ですか。

三協 男性 (再質問)

口頭です。調べてみましたら 100 万円の予算をつけてもらいまして、70 万しか使っていないということでした。

市長

無責任なことを言うてはいけませんので、少し時間をもらってその場所のところを市役所に戻りまして、1 回現場を見させてもらいまして、今日宿題をもらって必ず回答させていただきます。

城山下 男性

こちらから 1 号線のバイパスに行くのに 30 分ほど時間がかかってしまう。バイパスへの最短の道ですけど、インターから駅、それからまっすぐにバイパスへ行くような道を作っていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

市長

今、私どもが重点的にやっておりますのが、掛浜バイパスというのが最終的には掛川に続く道になります。菊川のラックから北に抜けて、東名の下をくぐ

りまして、西方の運動公園から西に抜けまして、つま恋の近くから北に入りまして、ギャラリーのところからバイパスに行くというのが、今のバイパスに行く予定路になっております。

もう一つが、JRアンダーの朝日線があるんですが、それは24年に完成しますので、その道が柳町というところがあるんですが、そこまでの計画を今しております。

それから、また駅の北側の皆さんと、その道をバイパスにどのようにつなぐかを、これから計画を立てていきたいと思っております。ですから、1号線へのアクセス道路を全く考えてないわけではなく、順次取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

古谷 男性

横地のトンネルのところ草がかぶさって、自転車で通る時に車道に出ないと通れないので、せめてそれくらいやっていただければありがたいです。丹野と横地の抜けたところに草がかぶさって、ガードレールからも1メートルくらい出ている状態で、自転車で通るとほとんど車道に出なきゃいけないのでお願いしたい。

もう1つは、私の町内会にもいますが、未婚者の方をなんとか市の方で紹介するとか、お金が絡むことばかりの中で、心の充実を考えていただければと思う。支度をしろとかいうわけではなく、紹介するようなイベントとかそういうのをやってもらえればありがたいのでお願いしたいと思います。

市長

まず丹野のトンネルの向こうということですよ、わかりました。トンネルの中は県の方に言いまして、夜少し明るくしてもらいたいということで照明を検討してもらっています。草につきましては、袋井土木の方に強い意見があったと言っておきますので申し上げます。

それからお見合いのことですけど、この前、民生委員さんからもお願いされ、お見合い列車を出すとかお見合いバス出すとか、今、福祉環境部長もいますので考えていると思いますのでご期待いただきたいと思います。